

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	51	かつては紅葉見物や野球観戦などにも足を運んだと聞く。コロナ収束の折には、元通りの外出支援を、できれば家族や地域の支援を仰ぎながら、楽しく行っていただくことを期待したい。	毎月の行事や季節ごとのレクリエーションを計画して楽しく外食やドライブに行ける様にした	コロナ禍では難しい外食レクや外出レクだが、実現できる日に向けて毎日の体操やリハビリで筋力維持が出来るように取り組む。	6 か月	
2	37	地域の協力体制を考える事も必要であり、運営推進会議が定例開催されるようになれば、その中で話をするなどして、地域住民の参加に向けて取り組んでいただきたい。併せて、地域での訓練が行われているのであれば、参加も検討していただきたい。	運営推進会議が定期開催でき、その中で地域での訓練や地域の方々への協力をお願いする。	まずは年2回の避難訓練を確実に実施し改善点を話し合い、今後は地域の訓練に職員の参加出来るように体制作りを行う。	6 か月	
3	14	難しい内容でもあり、DVDの貸出や外部の講師派遣の利用を含めて、柔軟な対応を期待する。	職員がいつでも研修会の参加や施設内で人権学習の機会を多く持てるように取り組む。	ミーティング時に権利擁護や虐待防止の研修会を毎月実施し、入居者に対する人権教育に取り組む。	6 か月	
4	4	コロナが沈静化して会議が元通り開催できるようになったら、改めて参加者の顔触れや議事内容の充実を図って、意見をサービスに活かしていただきたい。事業所の母体が調剤薬局でもあり、認知症などの薬の情報をテーマにすることを提案する。併せて、議事録は参加者へ郵送し、事業所内でも閲覧ができるようお願いしたい。	以前のように2ヶ月毎の運営推進会議が開催出来て、議事内容の充実を図りもっとサービスに活かしていきたい。ご家族にも議事録が届くようにしたい。	コロナ禍が落ち着き次第、運営推進会議を開催し事業所報告や地域・ご家族の貴重な意見を取り入れてサービスの向上に活かしていきたい。	6 か月	
5	2	4月より福祉を志す学生の実習受入を予定していると聞く。成功を祈るものだが、ただコロナウイルス感染拡大の懸念が払拭されるまでにはまだ時間を要すると思われる。その期間であっても、工夫をして可能な限り地域との交流を図り、また再開を目指して構想を練り準備していただきたい。やがては「アソシエ祭」を地域ぐるみで盛り上げたり、ということが実現できるよう期待する。	地域とのつながりを大切にしたり、ボランティアの方々や実習生を自由に積極的に受け入れが出来るようにしたい。	現在は(アソシエ祭)の実施についても事業所内だけで開催しなければならないが、地域との交流が出来る様に公民館活動とも繋がりを持ちご家族の協力もお願いしていく、	6 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( ↓ 該当するものすべてに○印 )	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )